



二次元バーコードは製造用コードです。

機種名	製造番号	据付年月日	据付担当サイン欄

◆この据付説明書は、取扱説明書と一緒に必ず保管してください。
◆据付け後に最終ページの確認項目のチェックを行ってください。
(据付工事後、お客様にお渡しください)

1 安全上のご注意 必ず守ってください

- ◆据付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく据え付けてください。
- ◆据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。

◆本文中に使われる「絵表示」の意味は次の通りです。



警告

死亡や重傷を負うおそれがある内容。

1. 本体の取付方向を上下逆にしたり、90度回転したりしない。
(火災の原因)
2. 配線を途中で接続しない、電源コードを束ねない、延長コードは他の製品と併用しない、タコ足配線はしない。
(発熱や感電、火災の原因)
3. コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや交流100V以外で使用しない。
(タコ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因)
4. 調理室など油煙の多い所、または可燃性ガス、腐食性ガスや金属製のホコリのある場所には据え付けない。
(水漏れや火災、故障の原因)
5. 浴室や衣類乾燥機などからの湯気や湿気が、長時間あたる場所には据え付けない。
(感電や故障の原因)
6. 可燃性のもの(ヘアブレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない。
(ひび割れや感電、引火の原因)
7. 吸込口や吹出口に指や棒などを入れない。
(感電やけが、故障などの原因)
8. 吹出しの風が火災警報器にあたる場所には据え付けない。
(火災の原因)

3. 据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。
(本体の落下によるけがの原因)
4. 電気工事を行う際は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの据付説明書に従って施工する。
(感電や火災の原因)
5. 据付工事は、電源を切って行う。
(電気部品に触れると感電の原因)
6. 電源プラグを差し込む際は、電源プラグ側だけでなく、コンセント側にもホコリの付着、詰まり、がたつきがないことを確認し、刃の根元まで確実に差し込む。
(ホコリの付着、詰まり、がたつきがあると、感電、火災の原因)
◆コンセントにがたつきがある場合は、交換してください。
7. 低い位置に設置する場合は、災害時に避難の障害とならない場所に設置する。
(災害時のけがの原因)



注意

軽傷を負うおそれ、または物的損害が発生するおそれがある内容。

1. 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは据え付けない。
(発火の原因)

接続する電源システムの容量は、6A相当分を想定する。

EDS002

2 付属品の確認

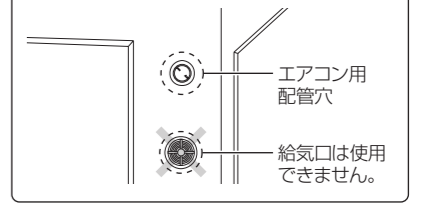
Ⓐ据付板 1枚	Ⓑ排湿ホース (長さ2.5m、φ51) 1本	Ⓒ据付板取付ネジ M4×25L (予備1本含む) 6本	Ⓓ本体固定ネジ M4×12L 2本	Ⓔネジカバー 2個
Ⓔ逆流防止ダンパー 1個	Ⓒ結束バンド 1個	Ⓕウォールカバー(ベース) 1個	①ウォールカバー(ベース)取付ネジ M4×25L 3本	②ウォールカバー 1個
Ⓚウォールカバー取付ネジ M4×12L 2本	①リモコン 1個	Ⓜリモコンホルダー 1個	Ⓝリモコンホルダー取付ネジ M3×20L 2本	④取扱説明書 ⑤据付説明書 ⑥保証書 各1部

3 据付場所の選定

湿気を気体のまま屋外に排出するので排水処理は不要です

- 壁面の貫通穴のある所。
(未使用のエアコン用配管穴を使用してください)
- 壁面の貫通穴のない場所に設置する場合は、壁貫通工事をする。
- 排湿ホース(2.5m)が屋外に取り出せる範囲で使用する。
(排湿ホースの長さは、短いほど除湿性能が高くなります)
- 窓の結露を防止したい場合、窓に沿って吹出口からの風があたる場所に据え付ける。
- 別荘などのカビを防止したい場合、日あたり、風通しが悪くジメジメが気になる部屋に据え付ける。
- 次の場所には据え付けない。
 - ・居住部分と分断された床下や天井裏、直射日光のあたる場所、風雨のあたる場所。
(過熱や感電、漏電、火災の原因になります)
 - ・家具のすき間など狭い場所。
(風通しが悪くなり、発熱、発火の原因になることがあります)
 - ・取付ネジ(木ネジ)が打てない場所(コンクリートやタイル面など)。
◆専用の工具が必要です。
- 火災警報器から吹出口までが、1.5m以上離れた所。
- 吸込口、吹出口に障害物のない所。
- 近くに熱や蒸気の発生がない所。
- 電子式点灯方式(インバーターまたはラピッドスタート方式)の蛍光灯からできるだけ離れた所。
(リモコンの受信距離が短くなる場合があります)
- テレビ、ラジオなどから1m以上離れた所。
(映像が乱れたり、雑音が生じることがあります)
- 吹出口の下には、ほかの冷暖房機器を置かない。(誤作動の原因になることがあります)

据付場所の近くに給気口がある場合は、運転中の屋外からの湿気の流入を防ぐために閉じる。

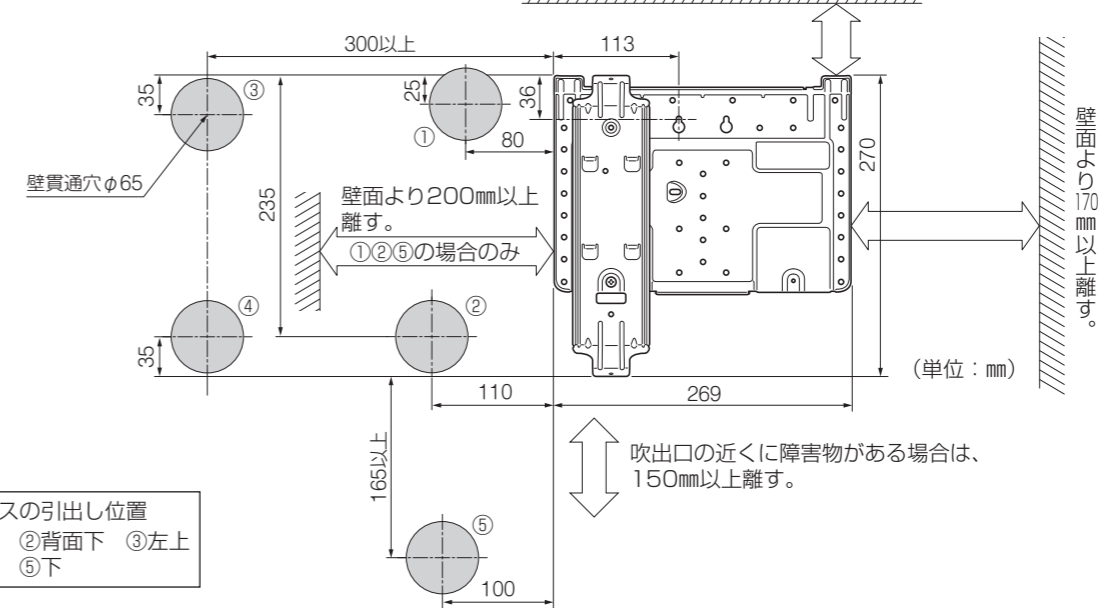


4 据付板を取り付ける

- ◆Ⓐ据付板は本体の背面にあります。ネジ1本を外してください。
- ◆Ⓐ据付板は水準器を用いて水平に取り付けてください。

性能確保のため、天井面より65mm以上離す。

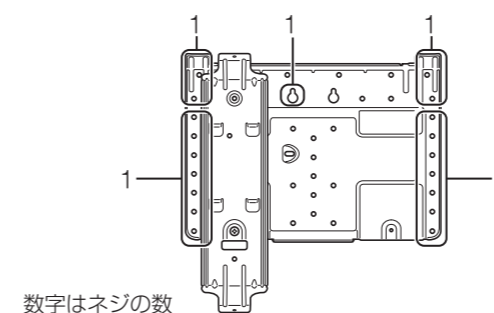
■貫通穴までの必要寸法と据付制約



排湿ホースの引出し位置
①背面上 ②背面上 ③左上
④左下 ⑤下

●ネジ位置について

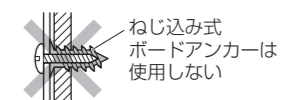
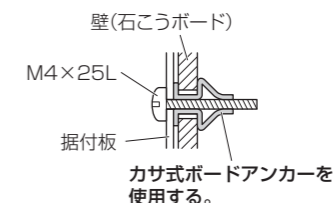
囲みの範囲内に指定のネジ数で固定すること。



数字はネジの数

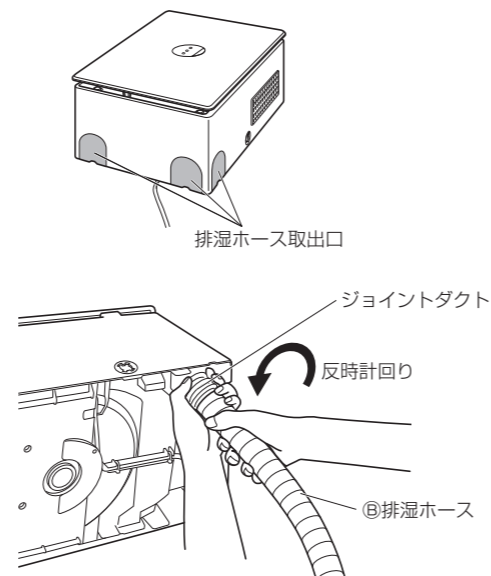
●石こうボードに取り付ける場合

- 必ずカサ式ボードアンカーを使用する。
- ◆ねじ込み式ボードアンカーは使用しないでください。
極端に保持強度が落ちる場合があります。
- ◆付属のⒸ据付板取付ネジは使用しないでください。



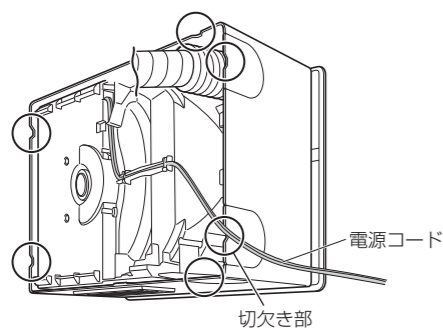
5 排湿ホースを接続する

1. 排湿ホース取出口のいずれか1ヵ所を切断する。
 - ◆壁面の貫通穴の真上に本体を設置する場合は不要です。
 - ◆排湿ホース取出口は、3ヵ所あります。壁面の貫通穴に最も近い場所を選んでください。
 - ◆本体上部の排湿ホース取出口を使用する場合は、高断熱フレキシブルダクト(別売品：KDJO91A4015)が必要です。取付けたは別売品の据付説明書を参照してください。
2. ジョイントダクトを伸ばす。
3. ジョイントダクトに⑧排湿ホースを、反時計回りに回しながらねじ込む。
 - 取付け後に抜けにくい確認する。
 - 本体に傷が付かないよう、やわらかい布やダンボールの上に置いて作業する。
 - 外すときも反時計回りにねじってください。
4. 電源コードを取り出す。
 - 電源コードは必要な分だけ本体の外に出し、余った分を、本体の背面に収納する。

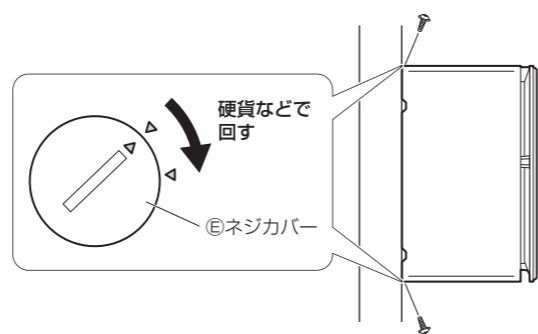


6 本体を取り付ける

1. 本体上部を④据付板に引っかける。
2. 電源コードを本体の切欠き部から出す。
 - 電源コードが本体と壁の間に挟まらないように注意する。

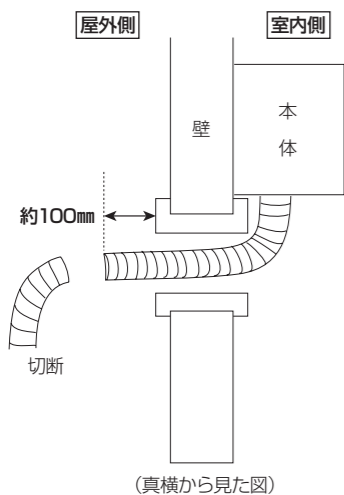


3. ⑧排湿ホースを壁面の貫通穴に通す。
 - ◆室内側の⑧排湿ホースを壁に固定する場合は、市販のホース止めバンドをご利用ください。
 - ◆室内側貫通穴の化粧カバーが、本体とぶつかる場合は、化粧カバーを取り外してください。
4. 本体の上下を⑤本体固定ネジで固定し、⑥ネジカバーを取り付ける。
 - ◆ネジ穴が見えない場合は、据付板を押さえて位置を調節してください。
 - ◆作業スペースが確保できず、上部のネジが止められない場合は、下部だけネジ止めしてください。



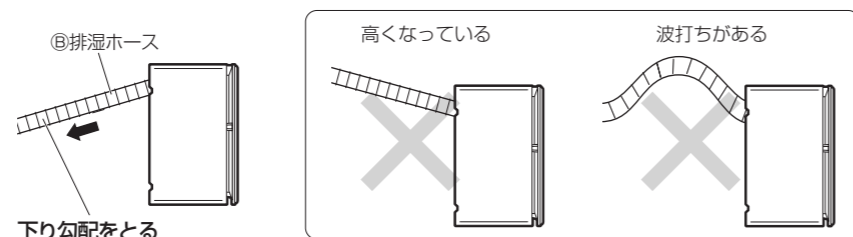
7 排湿ホースを切断する

- ⑧排湿ホースをはさみで切断する。



排湿ホースについて

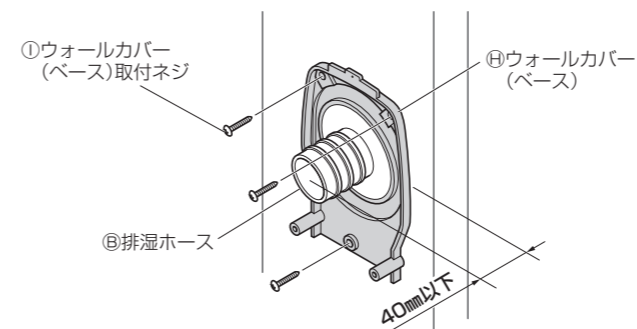
- 排湿ホースは下り勾配にし、トラップができないようにする。
- ◆排湿ホース内に結露水がたまる場合があります。(水漏れや排湿ホースからのポコポコ音の原因)



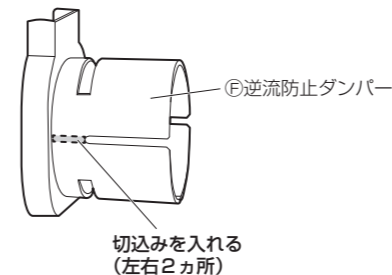
- ◆地下などで排湿ホースが逆勾配になる場合は、高断熱フレキシブルダクト(別売品：KDJO91A4015)が必要です。設置制約については、別売品の据付説明書を参照してください。

8 逆流防止ダンパーセットを取り付ける

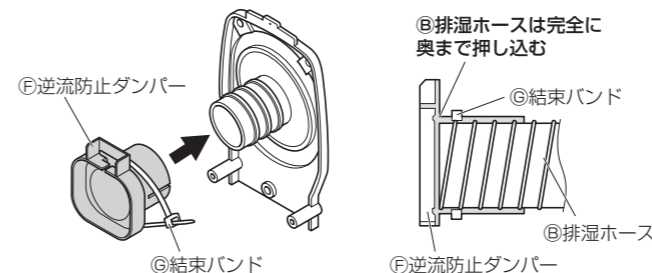
1. ④ウォールカバー(ベース)を貫通穴に合わせ、①ウォールカバー(ベース)取付ネジで取り付ける。(ネジ3本)
 - 壁の溝などですき間ができないよう、確実に密着させる。(虫などが進入するおそれがあります)
 - ◆排湿ホースの先端は、壁面より40mm以下になるよう再度切断してください。
 - ◆屋外側貫通穴の化粧カバーが、④ウォールカバー(ベース)とぶつかる場合は、化粧カバーを取り外してください。



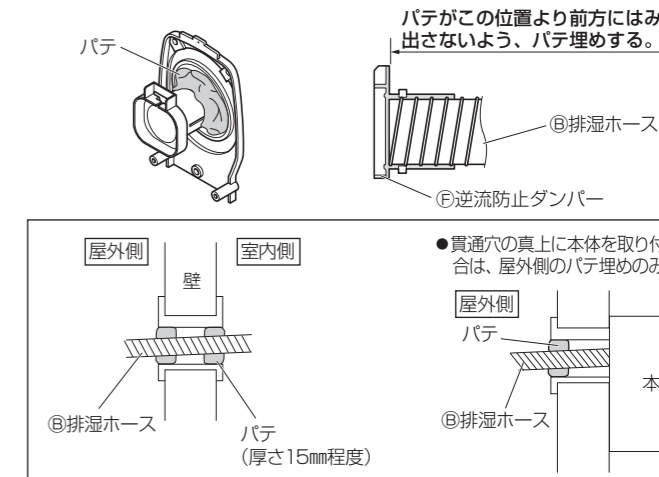
2. ⑧排湿ホースの先端に⑥逆流防止ダンパーをねじ込み、③結束バンドで固定する。
 - ◆逆流防止ダンパーが取り付けにくい場合は、左右に切込みを入れてください。



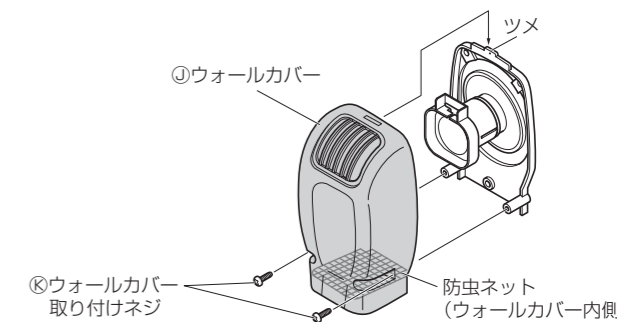
- ◆結束バンドは、⑥逆流防止ダンパー上下にある溝に固定して取り付けてください。



3. 排湿ホースと貫通穴のすき間をパテ埋めする。



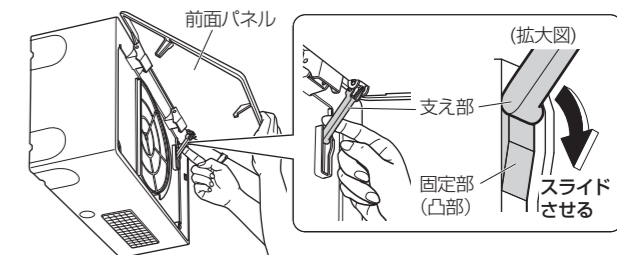
4. ①ウォールカバー上部をツメに引っかけて、②ウォールカバー取付ネジでネジ止めする。(ネジ2本)



- ◆作業中に防虫ネットが外れた場合は、①ウォールカバーに取り付けてから、ネジ止めしてください。

5. 前面パネルの保護シートをはがし、前面パネルを開けて固定用テープと緩衝材を取り外す。

6. 前面パネルを閉じる。
 - 支え部を手前にスライドし、固定部を乗り越えさせて閉じる。



9 試運転と確認

試運転を行う

1. コンセントの電圧または電源電圧を測定し、仕様通りか確認する。
2. ターボボタンを押して約5分間運転し、吹出口から温風が出ることを確認する。
 - ◆試運転中に、初回運転時特有のニオイがする場合があります。気になるときは換気してください。
3. 電源ボタンを押して運転を停止し、運転ランプが青色で点滅することを確認する。
 - ◆点滅は約40秒で停止します。

据付工事後に、必ず確認してください。確認項目

チェック項目 □欄でチェック(☑)をしてください。

番号	チェック項目	不良の場合
1	<input type="checkbox"/> 排湿ホースは下り勾配になっているか?	排湿ホース内に発生した結露水が本体に逆流
2	<input type="checkbox"/> 製品本体がガタついていないか?	本体が落下
3	<input type="checkbox"/> 電源コードは切欠き部を通っているか?	断線
4	<input type="checkbox"/> 吹出口付近に障害物はないか?	除湿効率が低下
5	<input type="checkbox"/> パテ埋めはすき間なくできているか?	雨天時などに屋外から湿気が流入
6	<input type="checkbox"/> 排湿ホースが雨ざらしの場所に出いていないか?	貫通穴から雨水が浸入するおそれ
7	<input type="checkbox"/> プレフィルタースクリーンにゴミが付着していないか?	能力不足や室内へゴミが吹き出すおそれ